

原発からの撤退を求める署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

【請願主旨】

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に事実をもって明らかにしました。

現在の原発の技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものです。原発はばく大な放射性物質（死の灰）をかかえています、それをどんな事態がおきても閉じ込めておく完全な技術は存在しません。そして、ひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたっても影響を及ぼします。

そうした原発を、世界有数の地震・津波国であるわが国に、集中的に建設することは危険きわまりないことです。日本に立地している原発で、大地震・津波にみまわれる可能性がないと断言できるものは一つもありません。

歴代政府が、「安全神話」にしがみつき、繰り返しの警告を無視して安全対策をとらなかったことが、どんなに深刻な結果をもたらすかも明瞭となりました。

以上をふまえて、私たちは、原発からの撤退を要求します。

【請願項目】

一、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくることを求めます。

氏名	住所

【取り扱い団体】

【お願い】 お手数ですが、この署名はお近くの日本共産党事務所やお知り合いの日本共産党員にお届けいただくか、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所へファクス（06-6764-9115）いただければ幸いです。



◀福島第一原発3、4号機

原発から撤退を 日本共産党

福島原発事故は、原発の危険性をあらためて明らかにしました。

日本共産党は、福島原発の事故を早期に解決するとともに、原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限をきめたプログラムをつくるよう要求します。原発ゼロ署名にご協力ください。

4面 原発ゼロ署名にご協力下さい

いま必要なことは、原発事故の収束に総力をあげるとともに、原発依存のエネルギー政策を転換することではないでしょうか。

■ 原発技術は未完成で危険

いまの原発の技術は本質的に未完成で危険をはらんだものです。冷却水がなくなると炉心が溶け、コントロール不能となり、大災害をもたらす本質的危険をもっているということが万人の前に明らかになりました。

■ 地震・津波国 日本での立地の危険

原発を、世界有数の地震・津波国である日本に集中立地すること自体が、世界に例のない異常で危険きわまりないものです。菅政権は、東海大地震の想定震源域に立地している浜岡原発（静岡県）の全炉停止を決定しましたが、このさい原発推進から撤退へと根本的に転換すべきです。

近畿民報

発行／日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2011年6月号外

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目
15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

日本共産党は以上
の見解を発表
しました。